

愛知県における化学物質の環境への排出量等（2017年度分）について

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（以下「化管法」という。）では、対象とされた化学物質を製造したり使用したりしている事業者は、環境中に排出した量（届出排出量）及び廃棄物などとして処理するために事業所の外へ移動させた量（届出移動量）を自ら把握し、年に1回、国に届け出ることとされています。国は、その届出データを集計するとともに届出の対象にならない事業所、家庭及び移動体（自動車等）から環境中に排出された量（届出外排出量）を推計し、公表します。（P R T R制度）

また、県民の生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）では、対象とされた化学物質を製造したり使用したりしている事業者は、その製造量及び使用量（届出取扱量）を自ら把握し、年に1回、愛知県知事に届け出ることとされています。

本県は、国が公表したデータをもとにして、本県における排出量等を集計するとともに、条例に基づく届出取扱量も集計し、併せて公表しています。

2017年度の愛知県内における化学物質の環境への排出量等について取りまとめた詳細データは以下のとおりです。

※ この資料に記載している排出量等の集計値については、表示単位未満を四捨五入により端数処理をしているため、合計等の値が各数値を合計した値と異なる場合があります。

また、割合（%）は小数第2位を四捨五入により端数処理しているため、各項目の合計値が100%にならない場合があります。

【参考】

- 化管法の届出対象となる事業者（以下の①から③の3つの要件を全て満たす事業者）
 - ① 政令で指定された業種を営む事業者
 - ② 常用雇用者21人以上の事業者
 - ③ 第一種指定化学物質のいずれかを1年間に1トン以上（特定第一種指定化学物質については0.5トン以上）取り扱う事業所を有する事業者又は特別要件施設（廃棄物処理施設や下水道終末処理施設など）を有する事業者
- 条例の届出対象となる事業者
化管法の届出対象事業者と同じ。
ただし、廃棄物処理施設や下水道終末処理施設などの特別要件施設は含まれない。
- 集計した化学物質
化管法及び条例により、人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼすおそれがあるもの、オゾン層を破壊するおそれがあるもの等として、排出量等の把握・届出が義務付けられている化学物質
なお、2008年の化管法施行令改正に伴い、2010年度から、対象化学物質が354物質から462物質に変更されている。

第1 2017年度排出量・移動量・取扱量及びその前年度比較の集計結果について

1 他都道府県との排出量等の比較

愛知県は、届出排出量、全排出量及び届出移動量が全国第1位でした。

表1-1-1 排出量等上位5都道府県 (トン/年)

順位	届出排出量		届出外排出量		全排出量		届出移動量	
1	愛知県	10,406 (10,678)	東京都	16,951 (17,508)	愛知県	23,446 (23,879)	愛知県	30,874 (26,956)
2	広島県	9,592 (8,989)	愛知県	13,040 (13,201)	東京都	18,545 (19,236)	大阪府	14,549 (14,918)
3	静岡県	8,469 (8,199)	北海道	11,825 (12,337)	静岡県	16,195 (16,230)	福岡県	14,414 (14,295)
4	埼玉県	6,842 (7,129)	千葉県	10,848 (10,792)	千葉県	16,189 (16,359)	千葉県	13,988 (16,222)
5	兵庫県	6,443 (6,516)	大阪府	10,630 (11,129)	埼玉県	16,069 (16,514)	山口県	13,356 (12,894)
-	全国合計	152,017 (151,659)	全国合計	238,719 (246,729)	全国合計	390,737 (398,388)	全国合計	235,083 (225,158)

※表中の()内の数値は2016年度における排出量等

2 化管法に基づく届出件数

化学物質の排出量及び移動量について1,970事業所から届出がありました。届出事業所数の多い業種は、①燃料小売業が743件、②輸送用機械器具製造業202件、③金属製品製造業151件、④化学工業123件、⑤一般廃棄物処理業93件の順であり、この5業種で全体の66.6%を占めていました。

表1-2-1 業種別の届出事業所数

業種	届出事業所数		業種	届出事業所数	
製造業	968	(988)	電気業	10	(8)
食料品製造業	17	(17)	ガス業	1	(1)
飲料・たばこ・飼料製造業	10	(10)	熱供給業	1	(1)
繊維工業	14	(16)	下水道業	57	(56)
木材・木製品製造業	10	(12)	鉄道業	1	(2)
家具・装備品製造業	6	(6)	倉庫業	8	(9)
パルプ・紙・紙加工品製造業	23	(26)	石油卸売業	9	(13)
出版・印刷・同関連産業	13	(14)	自動車卸売業	1	(1)
化学工業	123	(122)	燃料小売業	743	(765)
石油製品・石炭製品製造業	25	(27)	洗濯業	6	(7)
プラスチック製品製造業	86	(87)	自動車整備業	10	(16)
ゴム製品製造業	19	(19)	商品検査業	4	(4)
窯業・土石製品製造業	74	(77)	計量証明業	1	(0)
鉄鋼業	37	(36)	一般廃棄物処理業 (ごみ処分業に限る。)	93	(92)
非鉄金属製造業	39	(39)	産業廃棄物処分業	43	(45)
金属製品製造業	151	(151)	医療業	4	(3)
一般機械器具製造業	60	(60)	高等教育機関	3	(5)
電気機械器具製造業	50	(52)	自然科学研究所	7	(8)
輸送用機械器具製造業	202	(208)			
精密機械器具製造業	7	(7)			
その他の製造業	2	(2)	合計	1970	2024

※表中の()内の数値は2016年度における届出事業所数

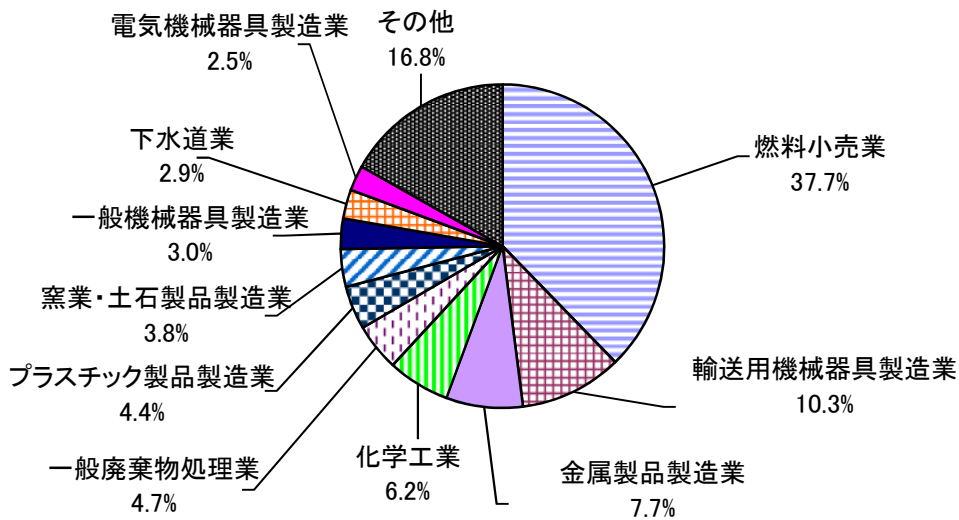


図1-2-1 届出事業所数上位10業種の割合

3 全排出量

全排出量は23,446トンであり、前年度と比較すると433トン（1.8%）減少しました。

(1) 全排出量の構成

全排出量のうち事業系の排出量が全体の74.1%を占めていました。また、家庭からの排出量は12.6%、移動体からの排出量は13.3%の割合でした。

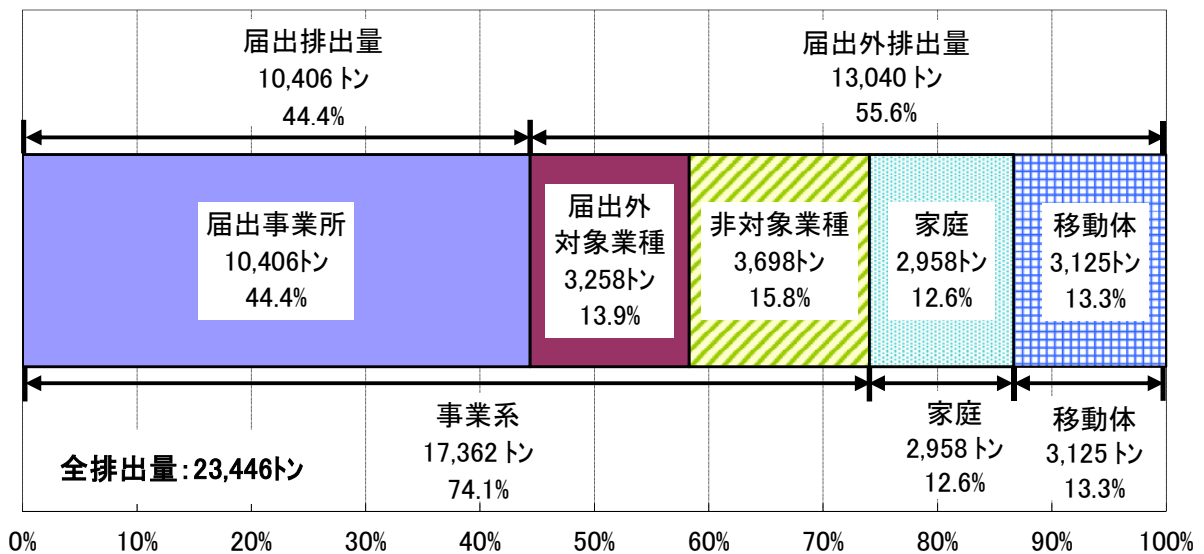


図1-3-1 全排出量の構成割合

表1-3-1 全排出量の構成の前年度比較

	全排出量(トン)						合計(トン)
	届出排出量	届出外排出量				小計	
		届出外対象業種	非対象業種	家庭	移動体		
2017年度	10,406	3,258	3,698	2,958	3,125	13,040	23,446
2016年度	10,678	3,230	3,793	2,918	3,260	13,201	23,879
増減	△ 272	29	△ 95	40	△ 135	△ 161	△ 433
増減率	△ 2.5%	0.9%	△ 2.5%	1.4%	△ 4.1%	△ 1.2%	△ 1.8%

(2) 物質別の全排出量

全排出量の上位 5 物質は、①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、④ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル、⑤ノルマルーヘキサンであり、この 5 物質で全体の 65.5%を占めていました。

①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、⑤ノルマルーヘキサンは事業系からの排出量が多く、④ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテルは家庭からの排出量が多くありました。

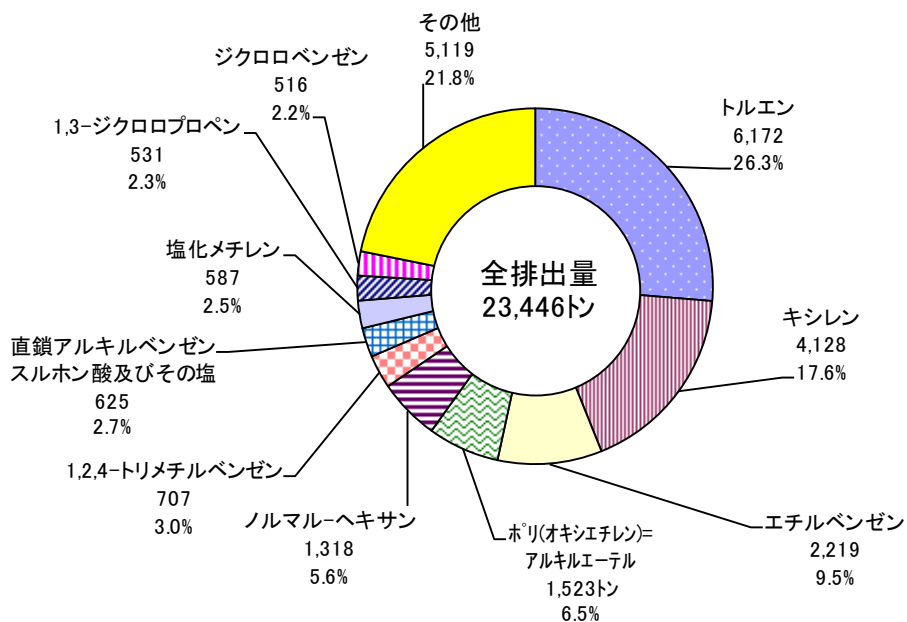


図 1-3-2 全排出量上位 10 物質の割合

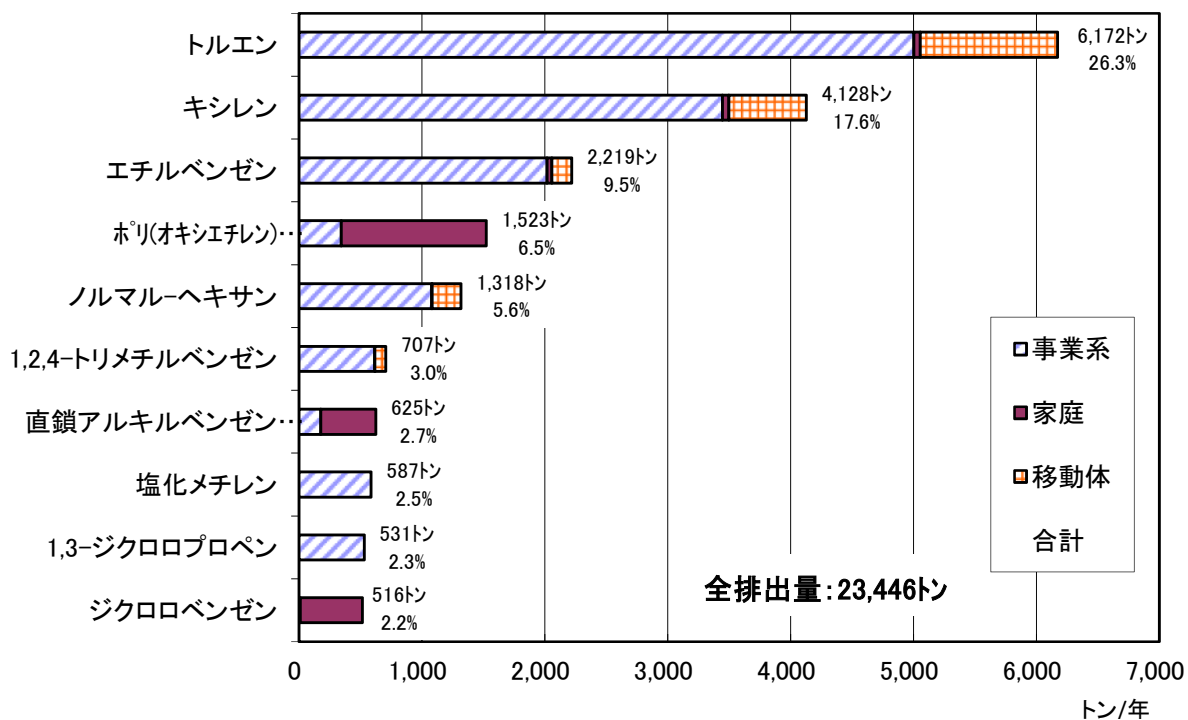


図 1-3-3 全排出量上位 10 物質の発生源

表 1 - 3 - 2 全排出量上位 5 物質の前年度比較

	全排出量(トン)						合計(トン)
	①トルエン	②キシレン	③エチルベンゼン	④ホリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	⑤ノルマルヘキサン	その他	
2017年度	6,172	4,128	2,219	1,523	1,318	8,086	23,446
2016年度	6,521	4,209	2,197	1,494	1,228	8,230	23,879
増減	△ 349	△ 81	22	29	90	△ 144	△ 433
増減率	△ 5.4%	△ 1.9%	1.0%	2.0%	7.3%	△ 1.7%	△ 1.8%

4 届出排出量

届出排出量は 10,406 トンであり、前年度と比較すると 272 トン (2.5%) 減少しました。

(1) 届出排出量の排出先

届出排出量全体の 96.2% が大気へ排出されました。

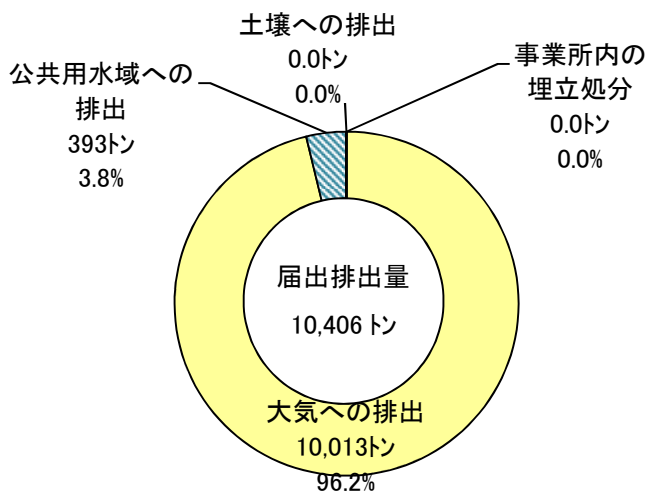


図 1 - 4 - 1 排出先別の届出排出量の割合

(2) 業種別の届出排出量

届出排出量の上位 5 業種は、①輸送用機械器具製造業、②プラスチック製品製造業、③金属製品製造業、④一般機械器具製造業、⑤化学工業であり、この 5 業種で全体の 70.4% を占めていました。なお、前年度と比較すると、上位 5 業種のうち①輸送用機械器具製造業、②プラスチック製品製造業、③金属製品製造業、④一般機械器具製造業からの排出量が減少しました。

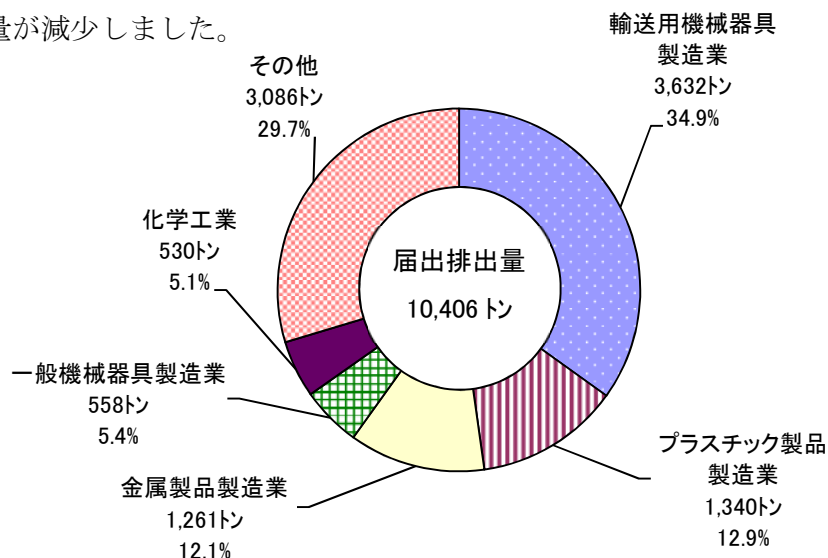


図 1 - 4 - 2 届出排出量上位 5 業種の割合

表 1 - 4 - 1 届出排出量上位 5 業種の前年度比較

	届出排出量(トン)						合計(トン)
	①輸送用機械器具製造業	②プラスチック製品製造業	③金属製品製造業	④一般機械器具製造業	⑤化学工業	その他業種	
2017年度	3,632	1,340	1,261	558	530	3,086	10,406
2016年度	3,741	1,574	1,267	579	496	3,021	10,678
増減	△ 109	△ 234	△ 6	△ 21	34	65	△ 272
増減率	△ 2.9%	△ 14.9%	△ 0.5%	△ 3.6%	6.8%	2.1%	△ 2.5%

(3) 物質別の届出排出量

届出排出量の上位 5 物質は、①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、④ノルマルヘキサン、⑤ 1, 2, 4 - トリメチルベンゼンであり、この 5 物質で全体の 80.1% を占めていました。なお、前年度と比較すると、①トルエン、②キシレンの排出量が減少しました。

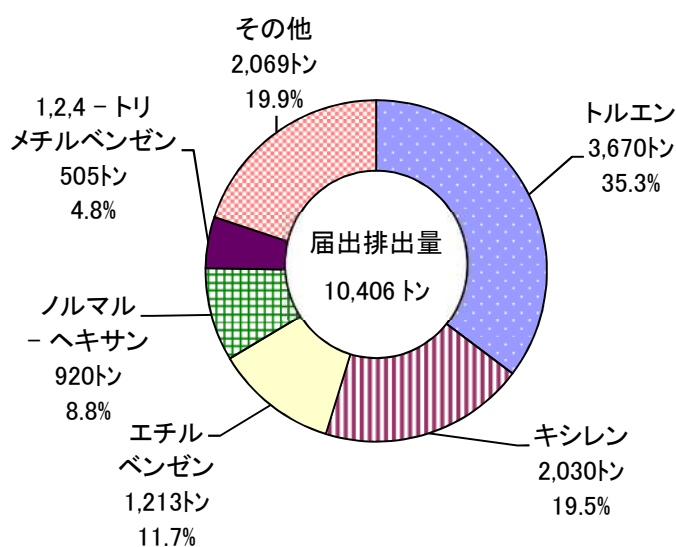


図 1 - 4 - 3 届出排出量上位 5 物質の割合

表 1 - 4 - 2 届出排出量上位 5 物質の前年度比較

	届出排出量(トン)						合計(トン)
	①トルエン	②キシレン	③エチルベンゼン	④ノルマルヘキサン	⑤1,2,4-トリメチルベンゼン	その他物質	
2017年度	3,670	2,030	1,213	920	505	2,069	10,406
2016年度	4,069	2,041	1,179	815	505	2,069	10,678
増減	△ 399	△ 11	34	105	0	△ 1	△ 272
増減率	△ 9.8%	△ 0.6%	2.9%	12.9%	0.0%	△ 0.0%	△ 2.5%

5 届出外排出量

届出外排出量は13,040トンであり、前年度と比較すると161トン(1.2%)減少しました。

(1) 届出外排出量の構成

届出外排出量の排出源については、対象業種と非対象業種からの排出量の合計(事業系)が全体の53.3%を占めていました。また、家庭からの排出量が22.7%、移動体からの排出量は24.0%の割合でした。なお、前年度と比較すると、届出外対象業種と家庭からの排出量が増加しました。

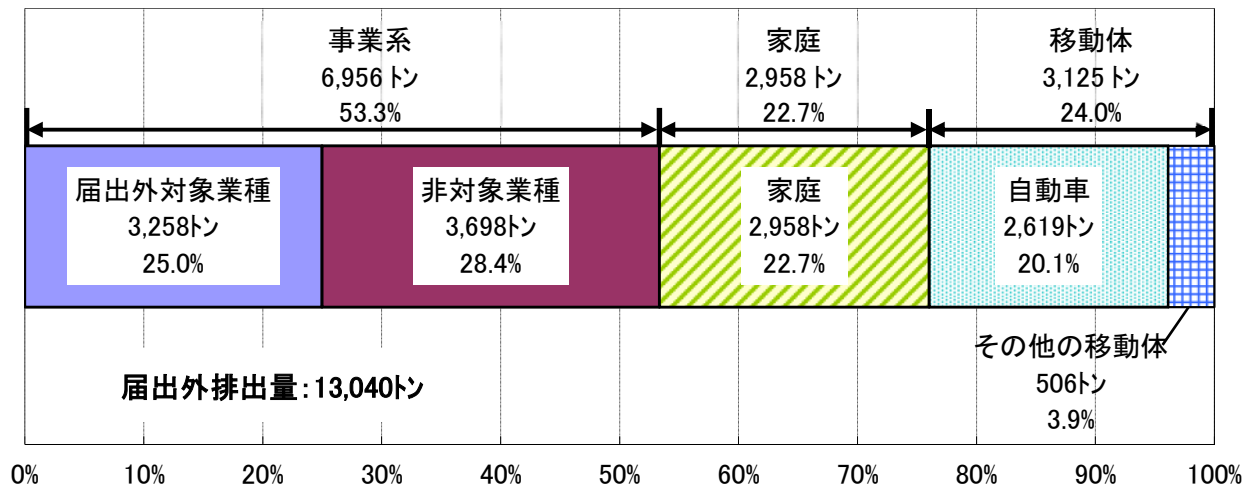


図1-5-1 届出外排出量の構成割合

表1-5-1 届出外排出量の構成の前年度比較

	届出外排出量(トン)					合計(トン)
	事業系		家庭	移動体		
	届出外対象業種	非対象業種		自動車	その他の移動体	
2017年度	3,258	3,698	2,958	2,619	506	13,040
2016年度	3,230	3,793	2,918	2,741	519	13,201
前年度差	29	△ 95	40	△ 122	△ 13	△ 161
増減率	0.9%	△ 2.5%	1.4%	△ 4.5%	△ 2.5%	△ 1.2%

※自動車については、推計方法の変更や対象物質数の増加により、届出外排出量が増加しています。

(2) 家庭からの物質別の排出量

家庭からの排出量は2,958トンでした。上位5物質は、①ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル、②ジクロロベンゼン、③直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩、④ポリ（オキシエチレン）＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム、⑤2－アミノエタノールであり、この5物質で全体の82.9%を占めていました。

なお、前年度と比較すると、上位5物質のうち②ジクロロベンゼンの排出量のみ減少し、他4物質の排出量は増加しました。全体では40トン（1.4%）増加しました。

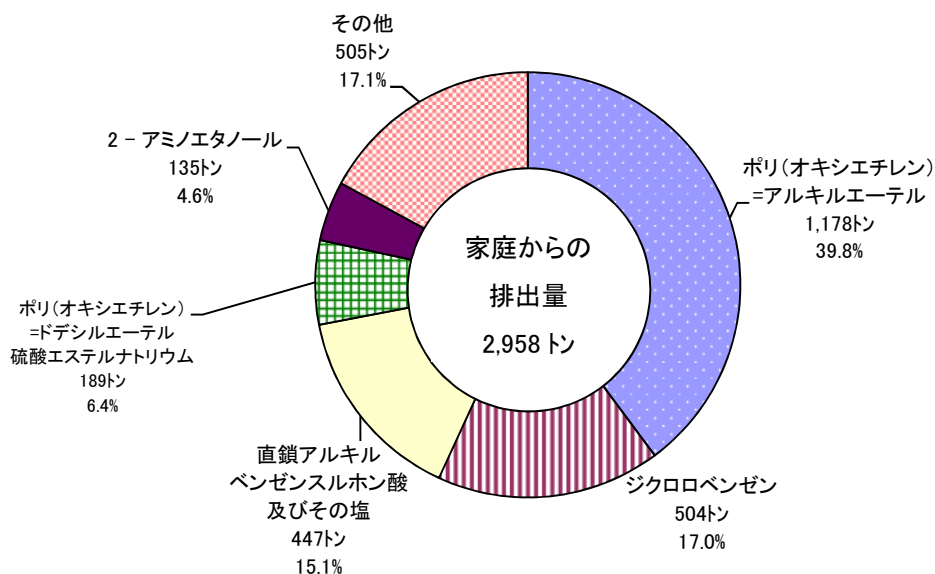


図1－5－2 家庭からの排出量上位5物質の割合

表1－5－2 家庭からの排出量上位5物質の前年度比較及びその用途

	家庭からの排出量(トン)						合計(トン)
	①ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	②ジクロロベンゼン	③直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	④ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム	⑤2－アミノエタノール	その他物質	
2017年度	1,178	504	447	189	135	505	2,958
2016年度	1,149	518	438	179	129	505	2,918
増減	29	△ 14	9	10	6	0	40
増減率	2.5%	△ 2.7%	2.1%	5.5%	4.9%	0.0%	1.4%
主な用途	洗浄剤 化粧品	防虫剤 消臭剤	洗浄剤 化粧品	洗浄剤 化粧品	洗浄剤 化粧品	—	—

(3) 移動体からの排出量

移動体からの排出量は 3,125 トンでした。上位 5 物質は、①トルエン、②キシレン、③ベンゼン、④ホルムアルデヒド、⑤ノルマルヘキサンであり、この 5 物質で全体の 82.2%を占めていました。また、前年度と比較すると、上位 5 物質全て排出量が減少し、全体では 135 トン (4.1%) 減少しました。

なお、移動体の種類別の排出量については、自動車からの排出量が全体の 83.8%を占めていました。

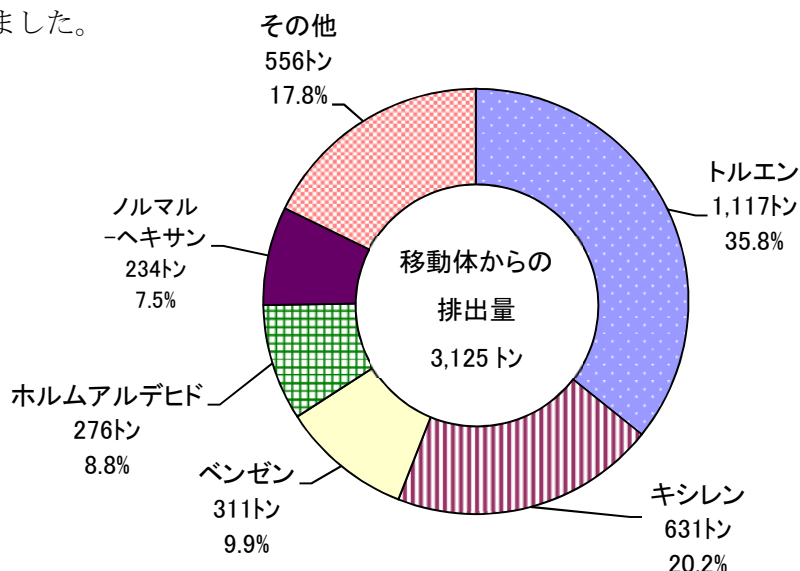


図 1-5-3 移動体からの排出量上位 5 物質の割合

表 1-5-3 移動体からの排出量上位 5 物質の前年度比較

	乗り物(自動車など)からの排出量(トン/年)						合計 (トン/年)
	①トルエン	②キシレン	③ベンゼン	④ホルムアルデヒド	⑤ノルマルヘキサン	その他物質	
2017年度	1,117	631	311	276	234	556	3,125
2016年度	1,141	642	332	314	243	588	3,260
増減	△ 24	△ 11	△ 21	△ 38	△ 9	△ 32	△ 135
増減率	△ 2.1%	△ 1.7%	△ 6.5%	△ 12.0%	△ 3.7%	△ 5.5%	△ 4.1%

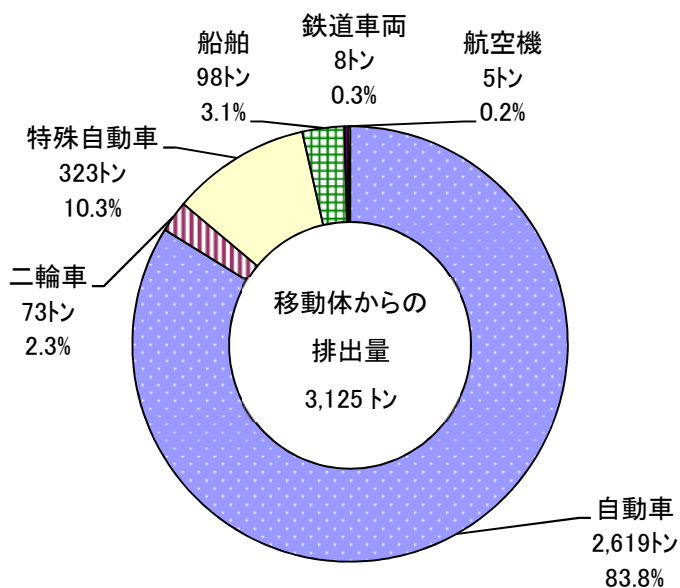


図 1-5-4 移動体からの排出量の種類別の割合

表 1 - 5 - 4 移動体からの種類別排出量の前年度比較

	移動体からの排出量(トン)						合計(トン)
	①自動車	②二輪車	③特殊自動車	④船舶	⑤鉄道車両	⑥航空機	
2017年度	2,619	73	323	98	8	5	3,125
2016年度	2,741	89	315	102	9	5	3,260
増減	△ 122	△ 16	8	△ 4	△ 1	0	△ 135
増減率	△ 4.5%	△ 18.2%	2.5%	△ 4.2%	△ 8.7%	8.2%	△ 4.1%

6 届出移動量

届出移動量は 30,874 トンであり、前年度と比較すると 3,918 トン(14.5%)増加しました。

(1) 届出移動量の移動先

届出移動量全体の 99.9%が廃棄物として事業所外へ移動されました。

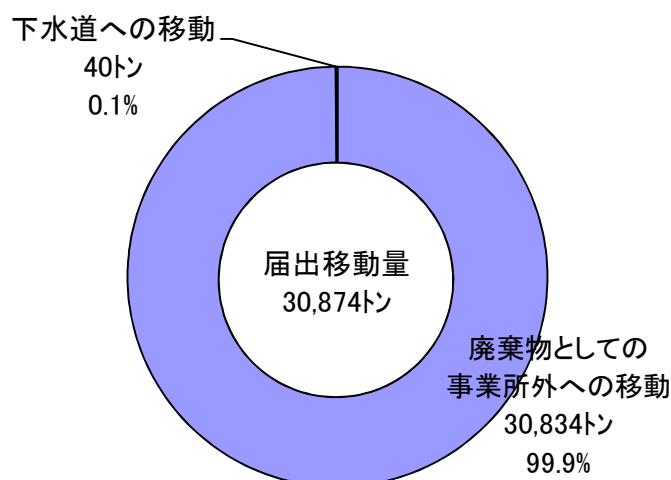


図 1 - 6 - 1 届出移動量の移動先別の割合

(2) 業種別の届出移動量

届出移動量の上位 5 業種は、①鉄鋼業、②化学工業、③プラスチック製品製造業、④金属製品製造業、⑤輸送用機械器具製造業であり、この 5 業種で全体の 95.0%を占めていました。なお、前年度と比較すると、上位 5 業種のうち①鉄鋼業、②化学工業、③プラスチック製品製造業、④金属製品製造業の移動量が増加しました。

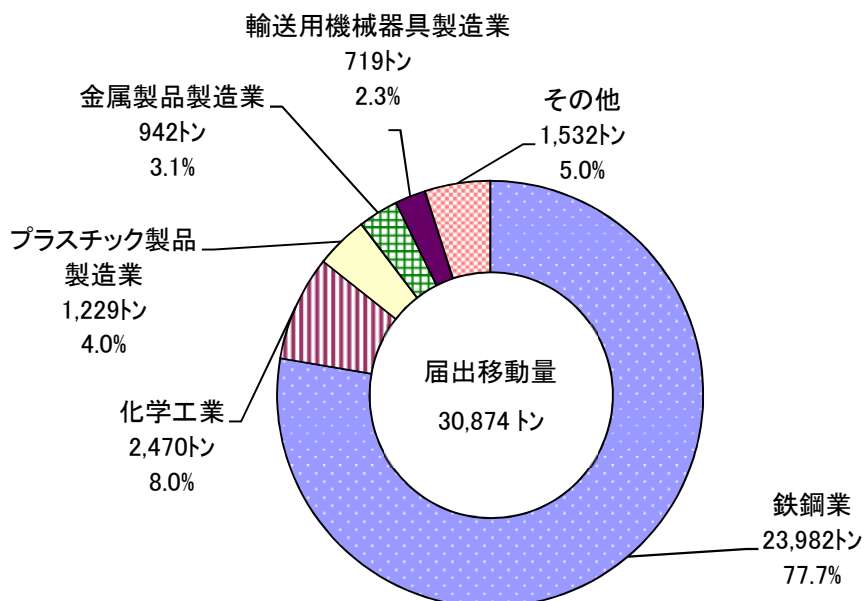


図 1 - 6 - 2 届出移動量の上位 5 業種の割合

表 1 - 6 - 1 届出移動量の上位 5 業種の前年度比較

	届出移動量(トン)						合計(トン)
	①鉄鋼業	②化学工業	③プラスチック製品製造業	④金属製品製造業	⑤輸送用機械器具製造業	その他業種	
2017年度	23,982	2,470	1,229	942	719	1,532	30,874
2016年度	20,398	2,152	1,146	932	870	1,458	26,956
増減	3,584	318	82	10	△ 151	73	3,918
増減率	17.6%	14.8%	7.2%	1.1%	△ 17.4%	5.0%	14.5%

(3) 物質別の届出移動量

届出移動量の上位 5 物質は、①マンガン及びその化合物、②クロム及び三価クロム化合物、③トルエン、④N, N-ジメチルアセトアミド、⑤鉛化合物であり、この 5 物質で全体の 86.0%を占めていました。なお、前年度と比較すると、上位 5 物質のうち①マンガン及びその化合物、②クロム及び三価クロム化合物、④N, N-ジメチルアセトアミド、⑤鉛化合物の移動量が増加しました。

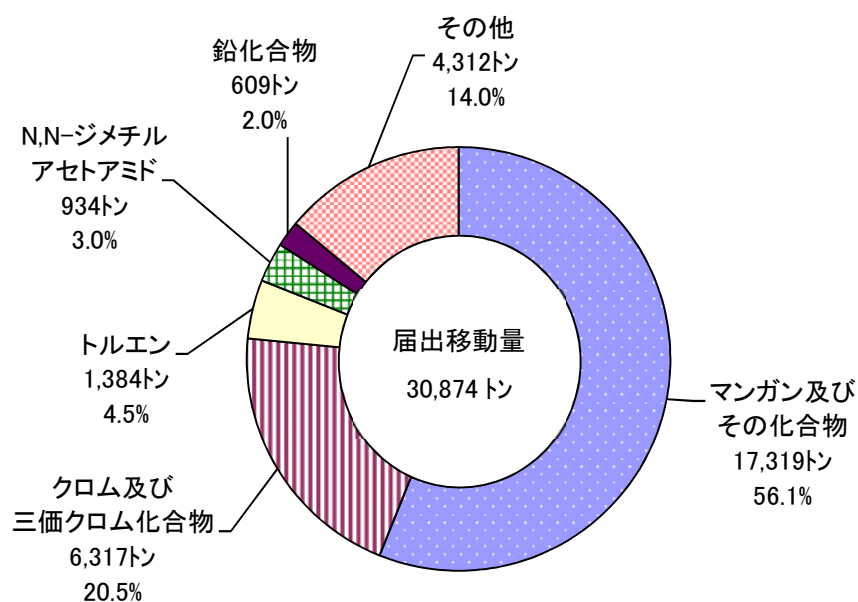


図 1 - 6 - 3 届出移動量の上位 5 物質の割合

表 1 - 6 - 2 届出移動量の上位 5 物質の前年度比較

	届出移動量(トン)						合計(トン)
	①マンガン及びその化合物	②クロム及び三価クロム化合物	③トルエン	④N,N-ジメチルアセトアミド	⑤鉛化合物	その他物質	
2017年度	17,319	6,317	1,384	934	609	4,312	30,874
2016年度	14,412	5,506	1,474	680	594	4,290	26,956
増減	2,907	811	△ 90	254	15	22	3,918
増減率	20.2%	14.7%	△ 6.1%	37.3%	2.5%	0.5%	14.5%

7 届出取扱量

届出取扱量は 3,731,325 トンであり、前年度と比較すると 18,065 トン（0.5%）減少しました。

(1) 業種別の届出取扱量

届出取扱量の上位 5 業種は、①化学工業、②石油製品・石炭製品製造業、③鉄鋼業、④燃料小売業、⑤倉庫業であり、この 5 業種で全体の 91.6%を占めていました。なお、前年度と比較すると、上位 5 業種のうち②石油製品・石炭製品製造業、④燃料小売業の取扱量が減少しました。

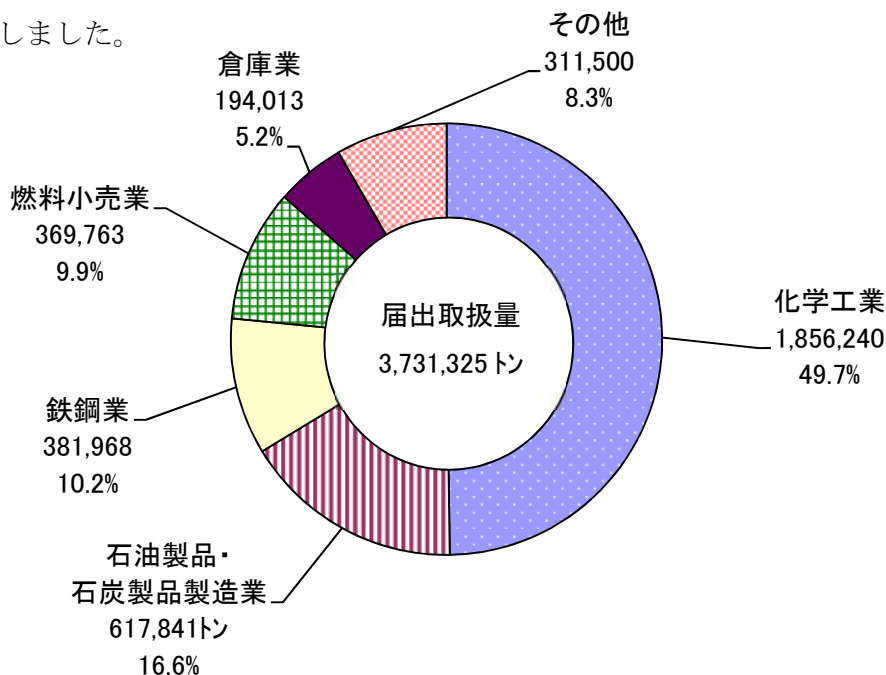


図 1-7-1 届出取扱量の上位 5 業種の割合

表 1-7-1 届出取扱量の上位 5 業種の前年度比較

	届出取扱量(トン)						合計(トン)
	①化学工業	②石油製品・石炭製品製造業	③鉄鋼業	④燃料小売業	⑤倉庫業	その他業種	
2017年度	1,856,240	617,841	381,968	369,763	194,013	311,500	3,731,325
2016年度	1,803,148	694,934	370,087	380,264	193,641	307,316	3,749,390
増減	53,092	△ 77,092	11,881	△ 10,501	372	4,184	△ 18,065
増減率	2.9%	△ 11.1%	3.2%	△ 2.8%	0.2%	1.4%	△ 0.5%

(2) 物質別の届出取扱量

届出取扱量の上位5物質は①キシレン、②トルエン、③ベンゼン、④テレフタル酸、⑤ノルマルヘキサンであり、この5物質で全体の57.4%を占めていました。なお、前年度と比較すると、②トルエン、③ベンゼン、④テレフタル酸の取扱量が減少しました。

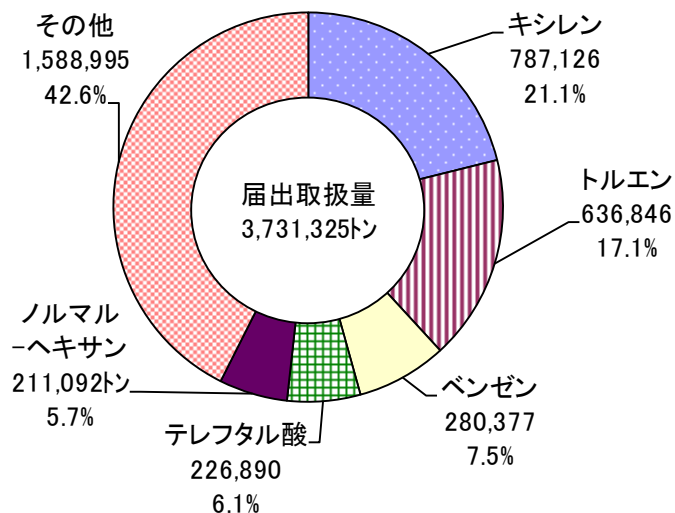


図1-7-2 届出取扱量の上位5物質の割合

表1-7-2 届出取扱量の上位5物質の前年度比較

	届出取扱量(トン)						合計(トン)
	①キシレン	②トルエン	③ベンゼン	④テレフタル酸	⑤ノルマルヘキサン	その他物質	
2017年度	787,126	636,846	280,377	226,890	211,092	1,588,995	3,731,325
2016年度	756,720	723,184	309,406	242,159	207,740	1,510,181	3,749,390
増減	30,406	△ 86,338	△ 29,029	△ 15,269	3,352	78,814	△ 18,065
増減率	4.0%	△ 11.9%	△ 9.4%	△ 6.3%	1.6%	5.2%	△ 0.5%

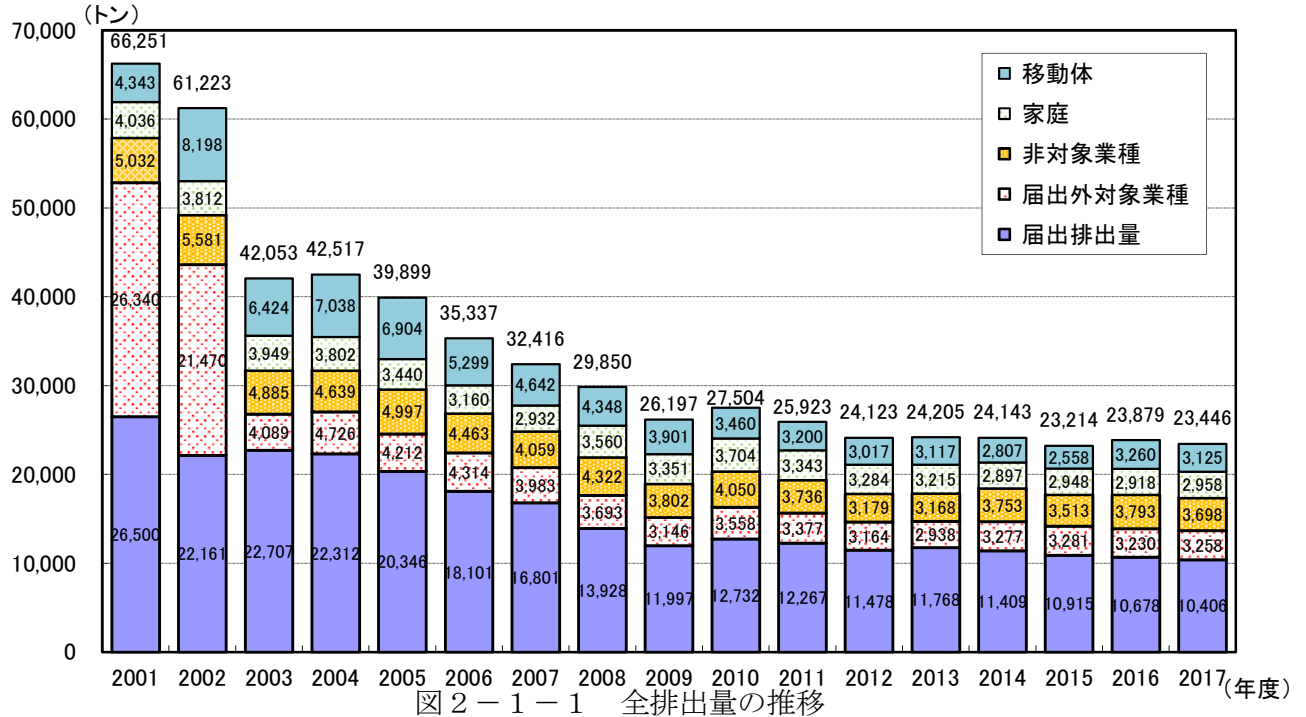
第2 排出量・移動量・取扱量の推移について

1 全排出量

(1) 全排出量の推移

化管法により集計を開始した 2001 年度以降の排出量の推移は次のとおりです。なお、2010 年度から届出対象物質が 354 物質から 462 物質に変更されています。

2017 年度の全排出量は 23,446 トンでした。化学物質の全排出量は長期的には減少傾向ですが、近年は横ばいです。



(2) 全排出量の上位 5 物質の推移

2017 年度の全排出量の上位 5 物質は、①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、④ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル、⑤ノルマルヘキサンでした。2001 年度と比較すると、①トルエンは 11,358 トン(64.8%)、②キシレンは 6,887 トン(62.5%) 減少しました。

◆ トルエン ■ キシレン ▲ エチルベンゼン ● ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル * ノルマルヘキサン

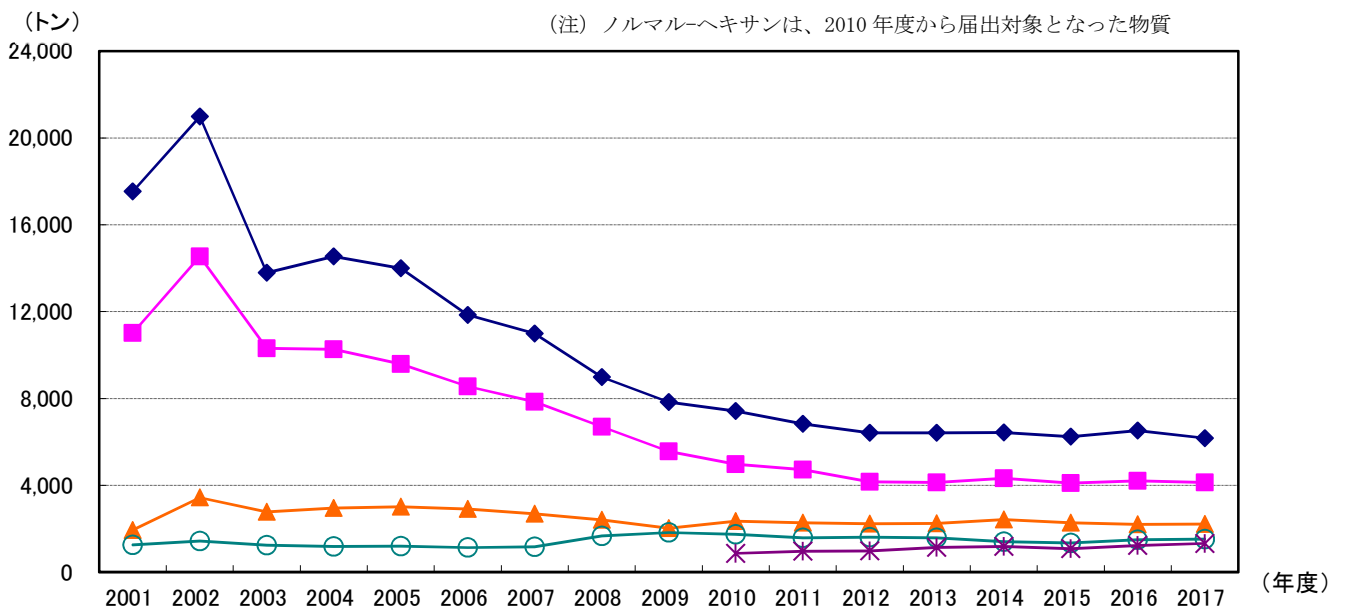


図 2-1-2 全排出量上位 5 物質の推移

2 届出排出量

(1) 届出排出量の推移

2017年度の届出排出量は10,406トンでした。対象物質の届出排出量は長期的には減少傾向です。

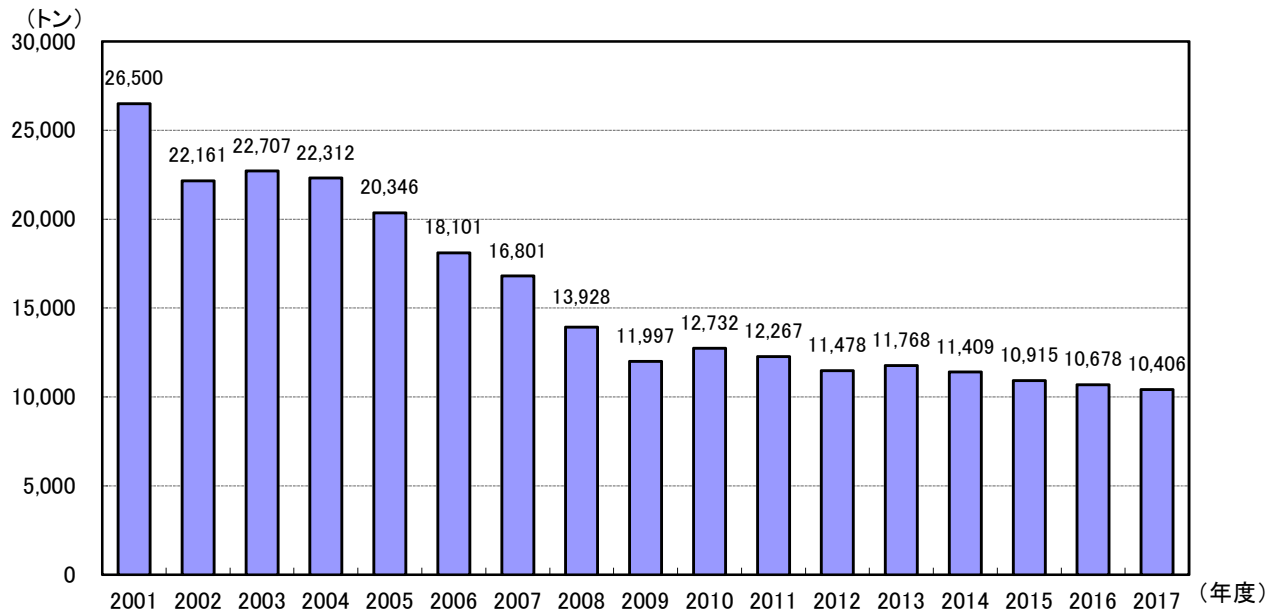


図 2-2-1 届出排出量の推移

(2) 届出排出量の上位5業種の推移

届出排出量の上位5業種は、①輸送用機械器具製造業、②プラスチック製品製造業、③金属製品製造業、④一般機械器具製造業、⑤化学工業でした。2001年度と比較すると、①輸送用機械器具製造業は6,409トン(63.8%)減少し、②プラスチック製品製造業は2,545トン(65.5%)減少しました。

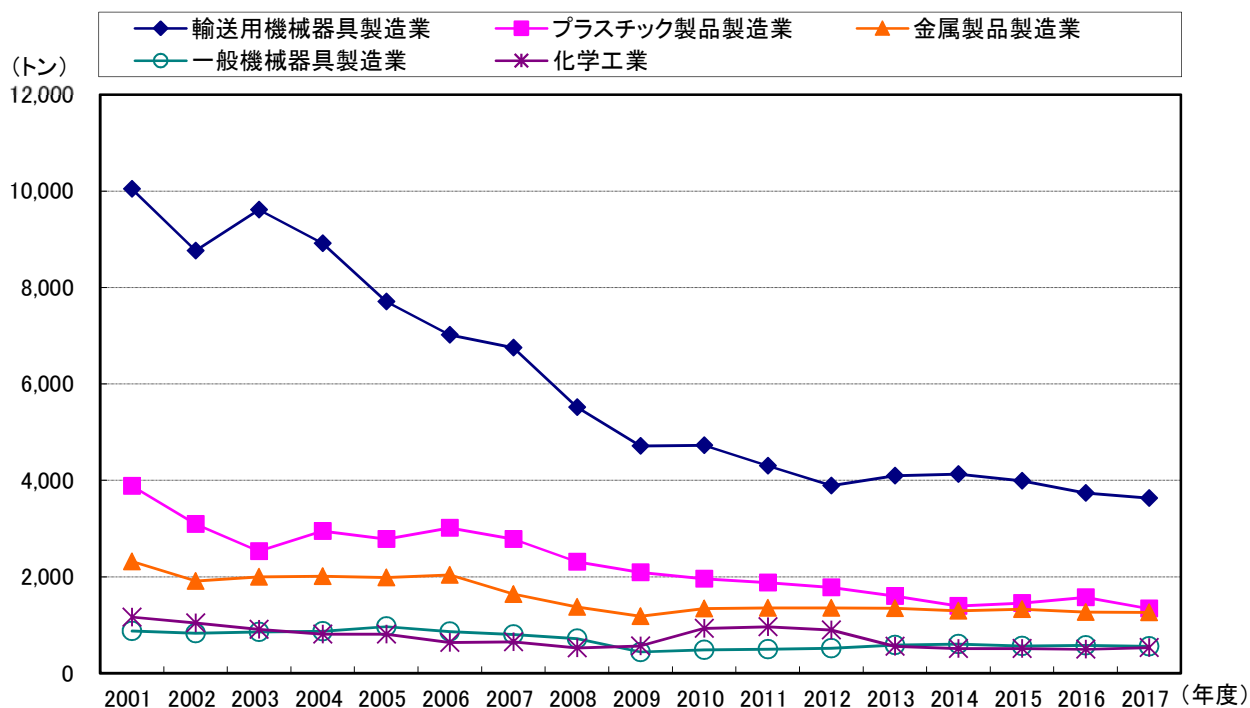


図 2-2-2 届出排出量上位5業種の推移

(3) 届出排出量の上位5物質の推移

届出排出量の上位5物質は、①トルエン、②キシレン、③エチルベンゼン、④ノルマルヘキサン、⑤1,2,4-トリメチルベンゼンでした。2001年度と比較すると、①トルエンは7,967トン(68.5%)、②キシレンは5,788トン(74.0%)減少しました。

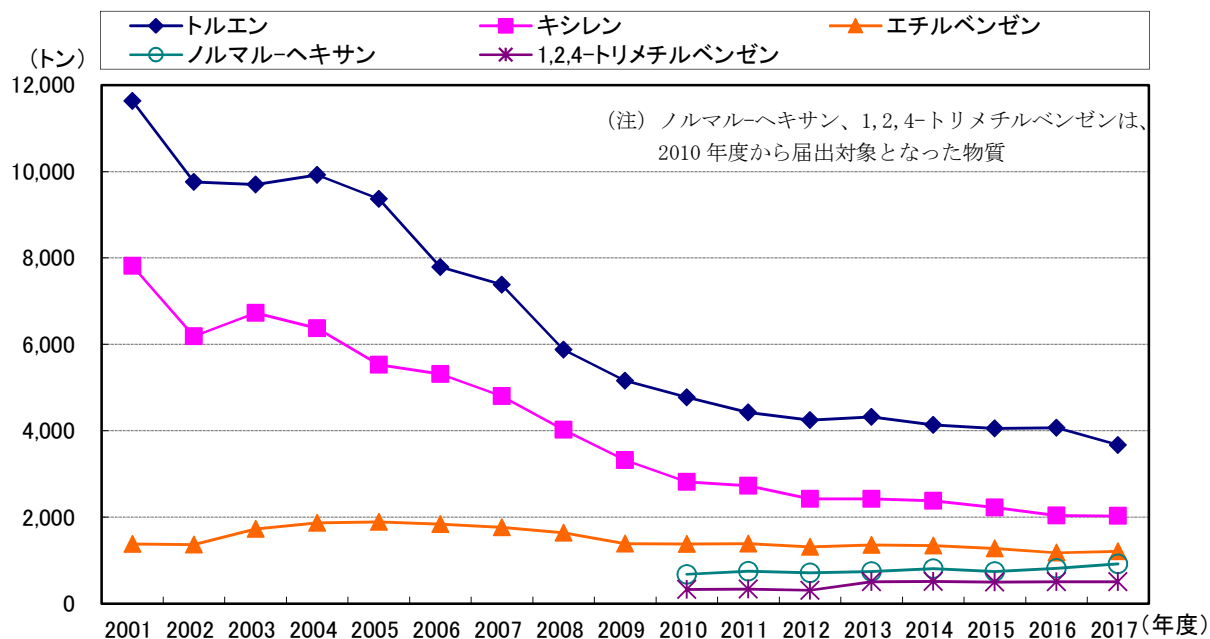


図2-2-3 届出排出量上位5物質の推移

(4) トルエン及びキシレンの届出排出量の上位5業種の推移

トルエンの届出排出量の上位5業種は、①輸送用機械器具製造業、②プラスチック製品製造業、③出版・印刷・同関連産業、④金属製品製造業、⑤パルプ・紙・紙加工品製造業でした。2001年度と比較すると、①輸送用機械器具製造業は2,789トン(71.0%)、②プラスチック製品製造業は2,067トン(71.5%)減少しました。

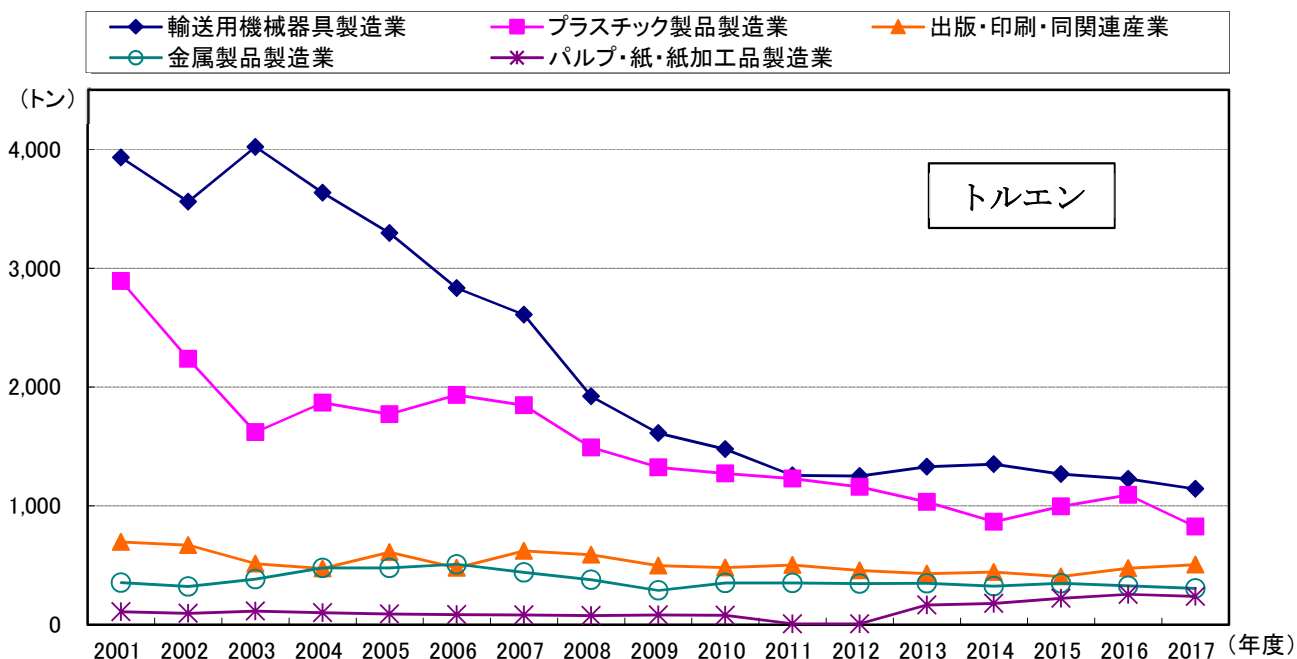


図2-2-4 トルエンの届出排出量上位5業種の推移

キシレンの届出排出量の上位5業種は、①輸送用機械器具製造業、②金属製品製造業、③プラスチック製品製造業、④一般機械器具製造業、⑤鉄鋼業でした。2001年度と比較すると、①輸送用機械器具製造業は3,324トン(78.0%)、②金属製品製造業は390トン(52.1%)減少しました。

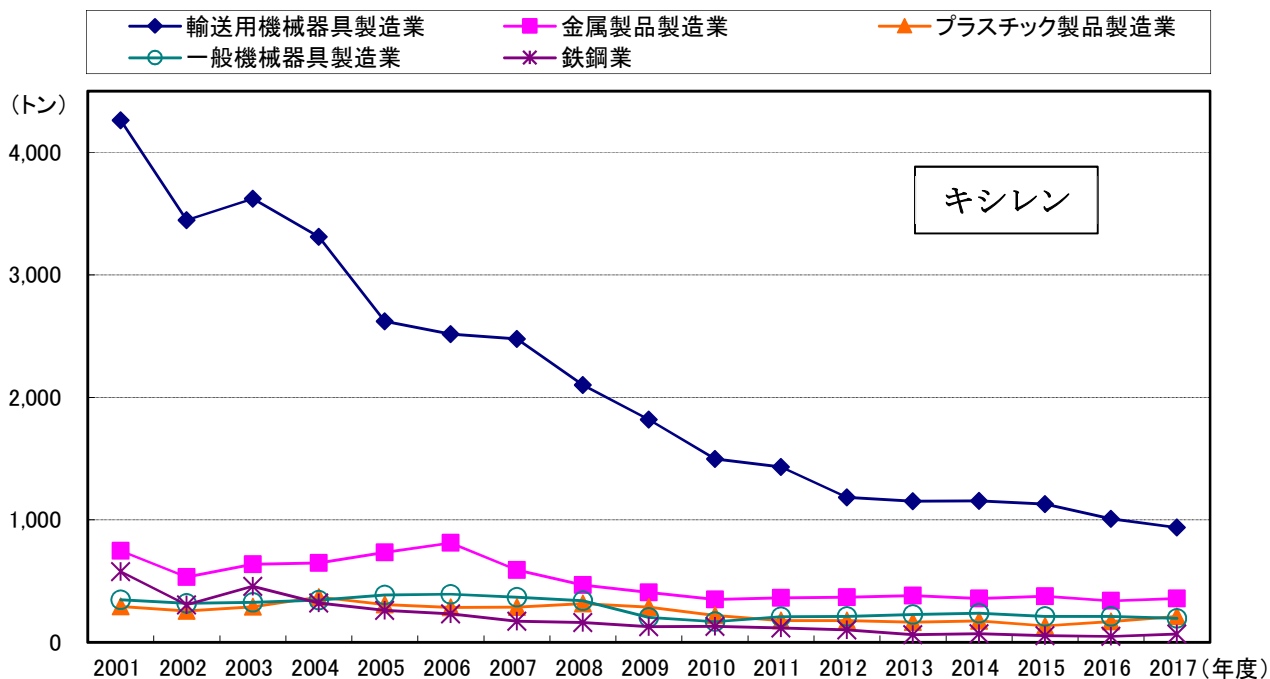


図2-2-5 キシレンの届出排出量上位5業種の推移

3 届出外排出量の推移

国が推計した2017年度の届出外排出量は13,040トンでした。対象化学物質の届出外排出量は長期的には減少傾向ですが、近年は横ばいです。

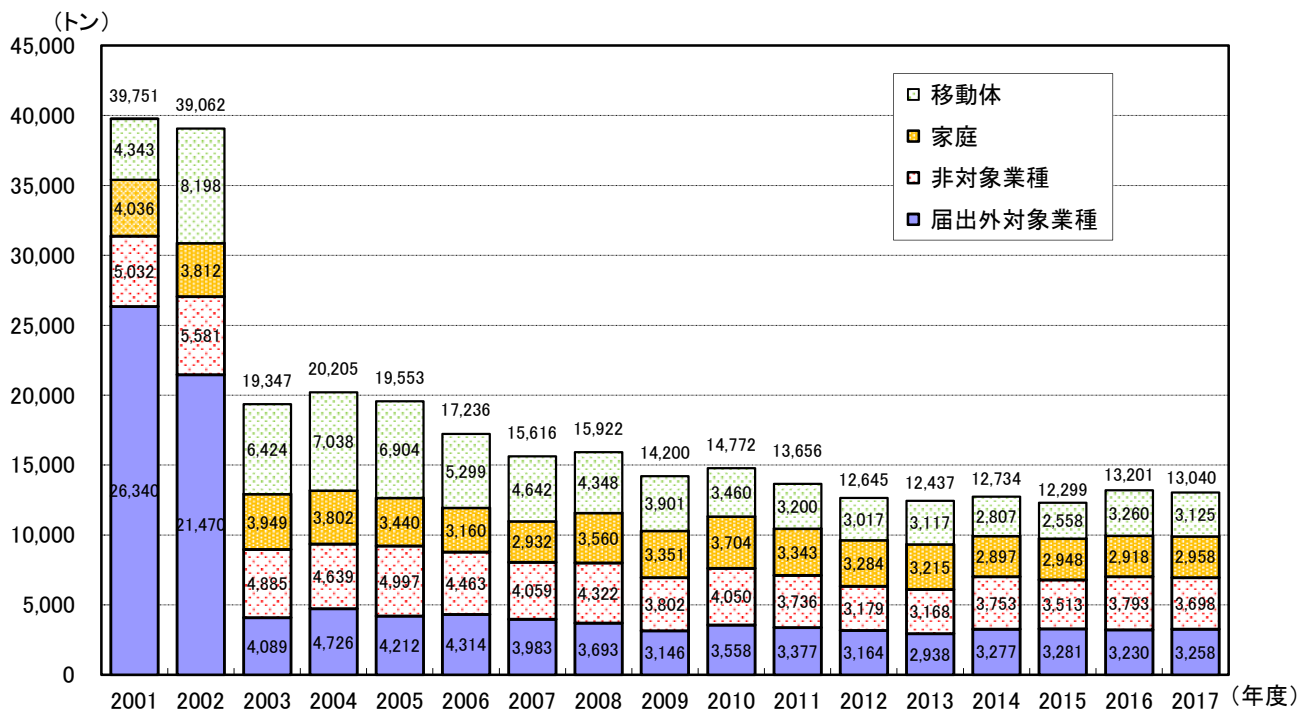


図2-3 届出外排出量の推移

4 届出移動量

(1) 届出移動量の推移

化管法により集計を開始した 2001 年度以降の届出移動量の推移は次のとおりです。なお、2010 年度から届出対象物質が 354 物質から 462 物質に変更されています。

2017 年度の届出移動量は 30,874 トンでした。対象化学物質の届出移動量は長期的には増加傾向ですが、環境中への排出量の削減につながっています。

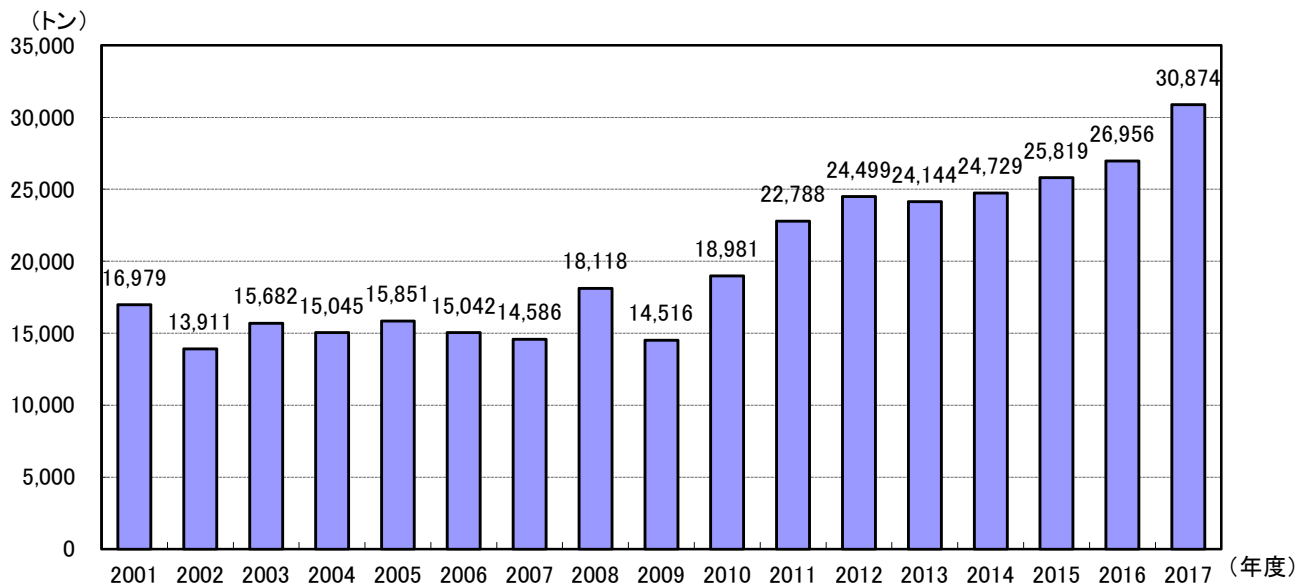


図 2-4-1 届出移動量の推移

(2) 届出移動量の上位 5 業種の推移

届出移動量の上位 5 業種は、①鉄鋼業、②化学工業、③プラスチック製品製造業、④金属製品製造業、⑤輸送用機械器具製造業でした。2001 年度と比較すると、①鉄鋼業は 19,724 トン (463.2%) 増加し、②化学工業は 2,495 トン (50.2%) 減少しました。

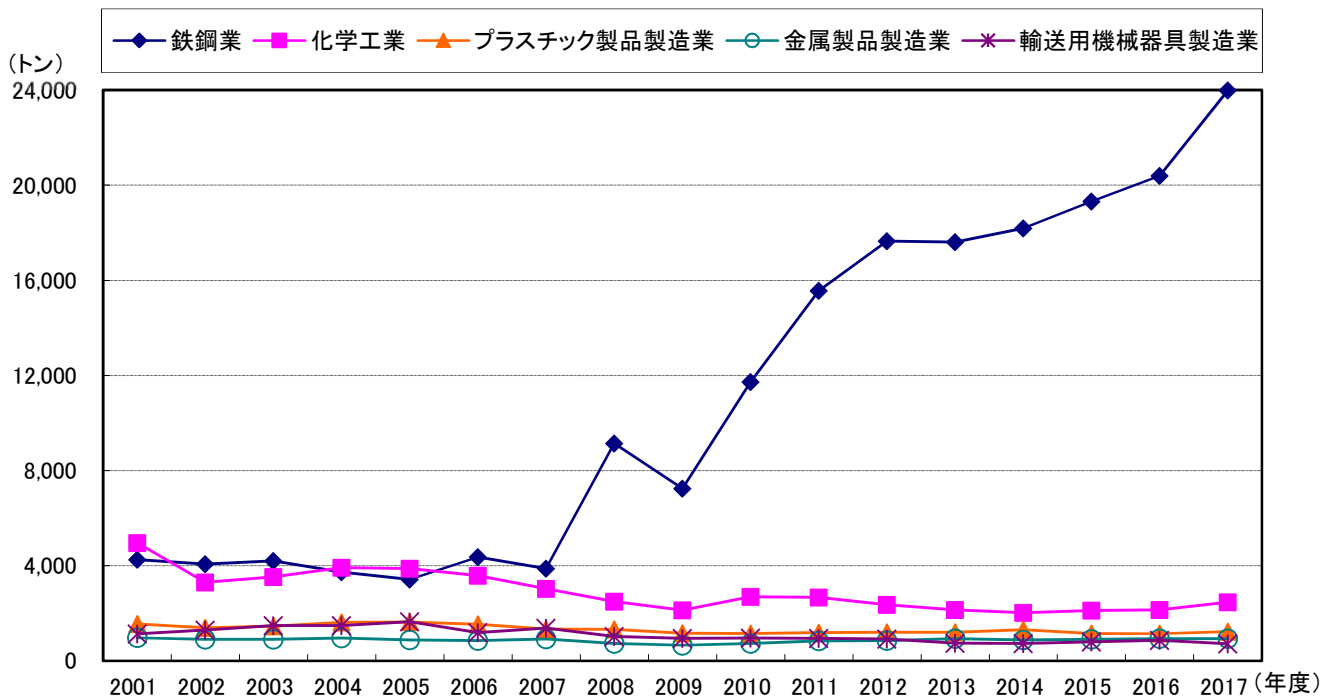


図 2-4-2 届出移動量上位 5 業種の推移

(3) 届出移動量の上位5物質の推移

届出移動量の上位5物質は、①マンガン及びその化合物、②クロム及び三価クロム化合物、③トルエン、④N,N-ジメチルアセトアミド、⑤鉛化合物でした。集計を開始した2001年度と比較すると、①マンガン及びその化合物は15,824トン（1058.9%）、②クロム及び三価クロム化合物は4,806トン（317.9%）増加しました。

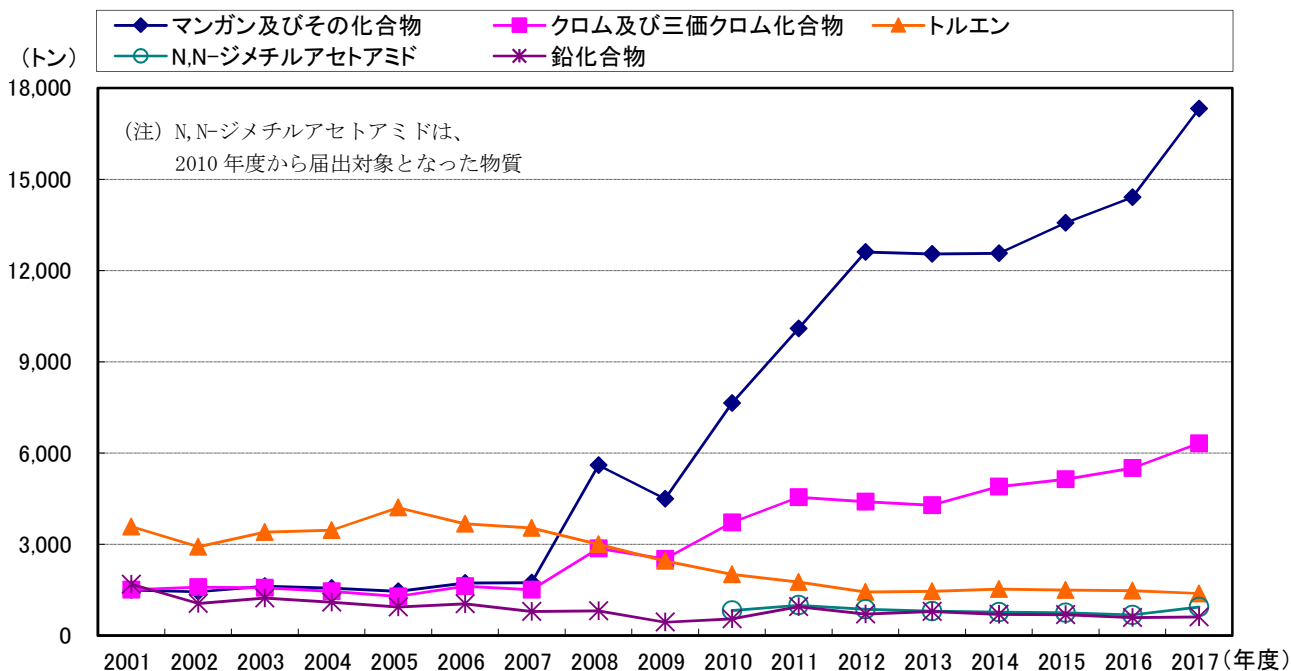


図2-4-3 届出移動量上位5物質の推移

5 届出取扱量

(1) 届出取扱量の推移

条例により集計を開始した2004年度以降の届出取扱量の推移は以下のとおりです。なお、2004年度から届出対象物質が354物質から462物質に変更されています。

2017年度の届出取扱量は3,731,325トンでした。対象化学物質の届出取扱量は、長期的には横ばいです。

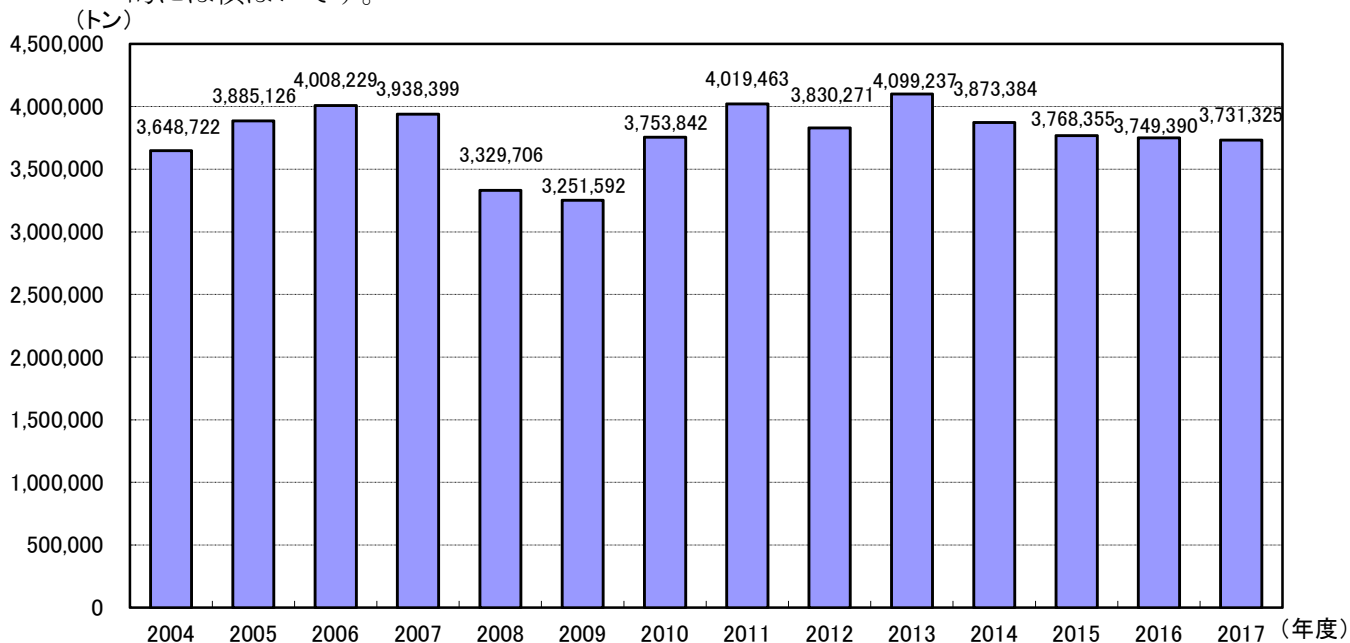
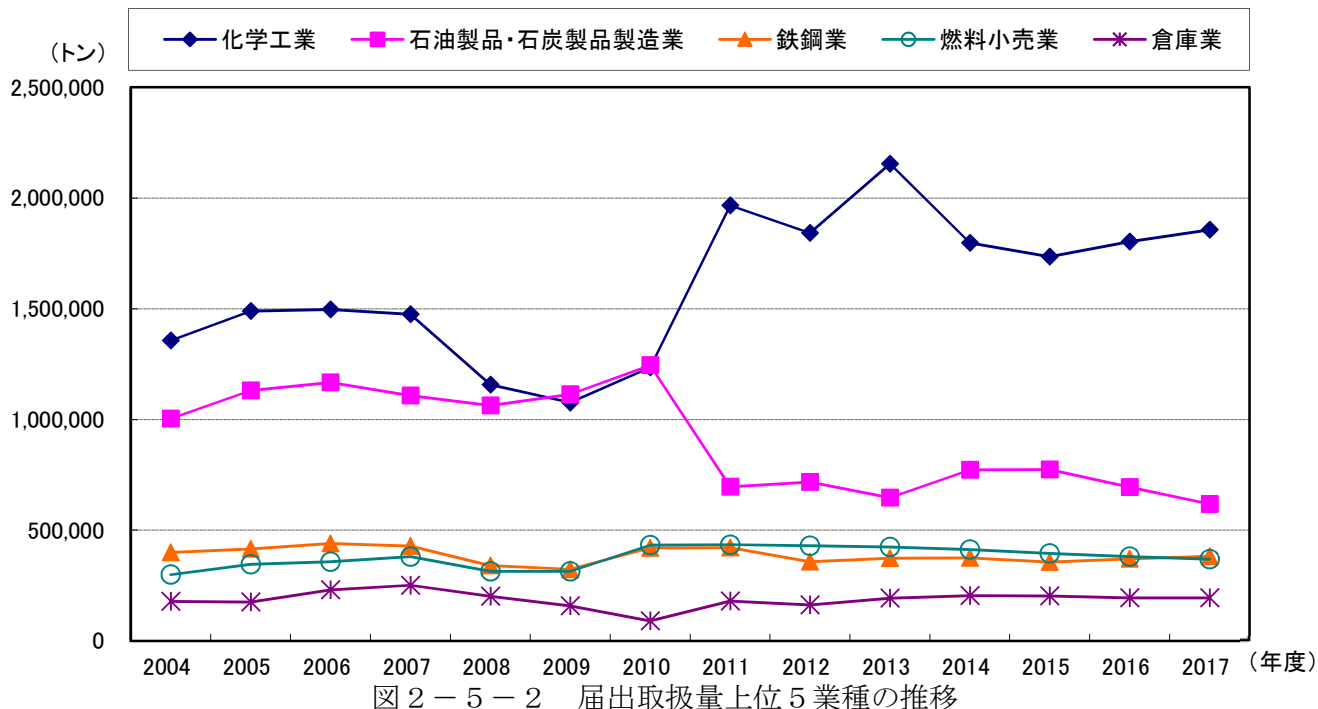


図2-5-1 届出取扱量の推移

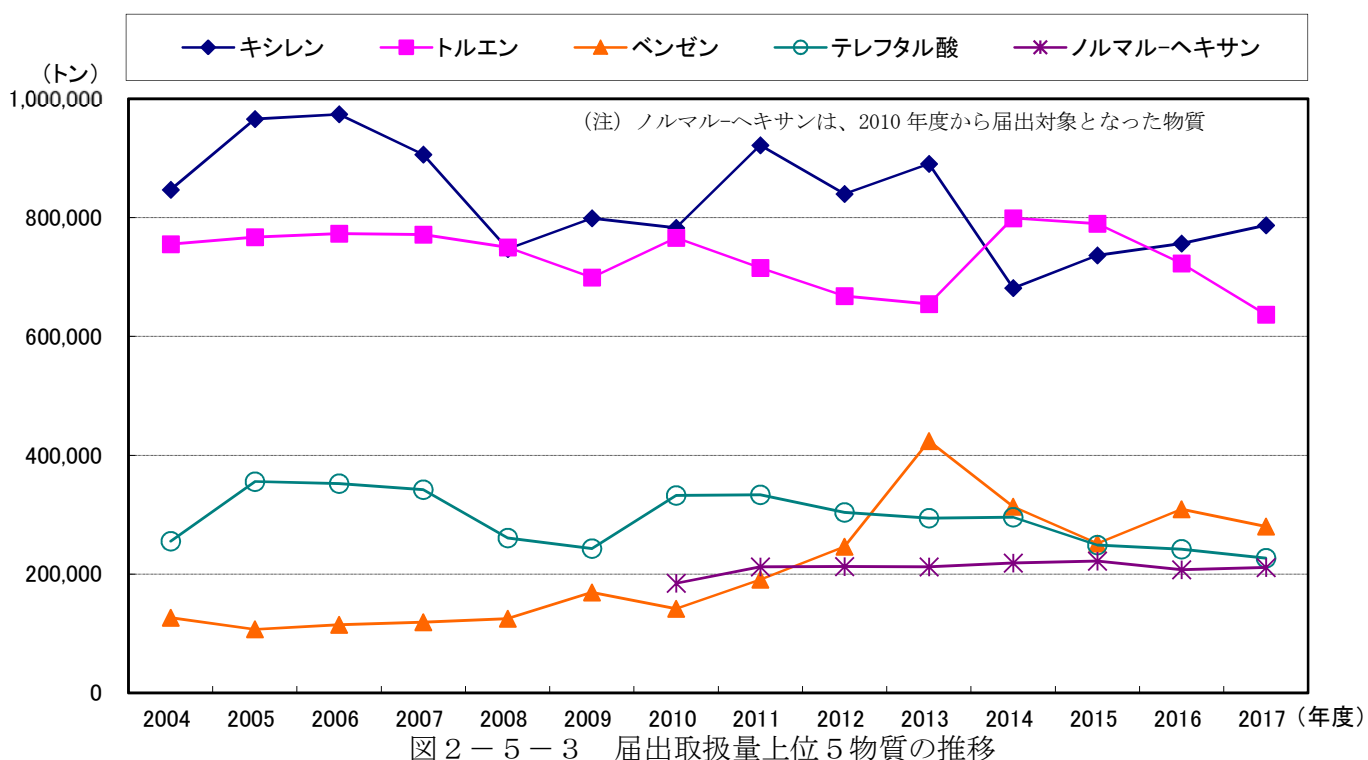
(2) 届出取扱量の上位5業種の推移

届出取扱量の上位5業種は、①化学工業、②石油製品・石炭製品製造業、③鉄鋼業、④燃料小売業、⑤倉庫業でした。届出取扱量の集計を開始した2004年度と比較すると、①化学工業が499,283トン(36.8%)増加し、②石油製品・石炭製品製造業は386,420トン(38.5%)減少しました。



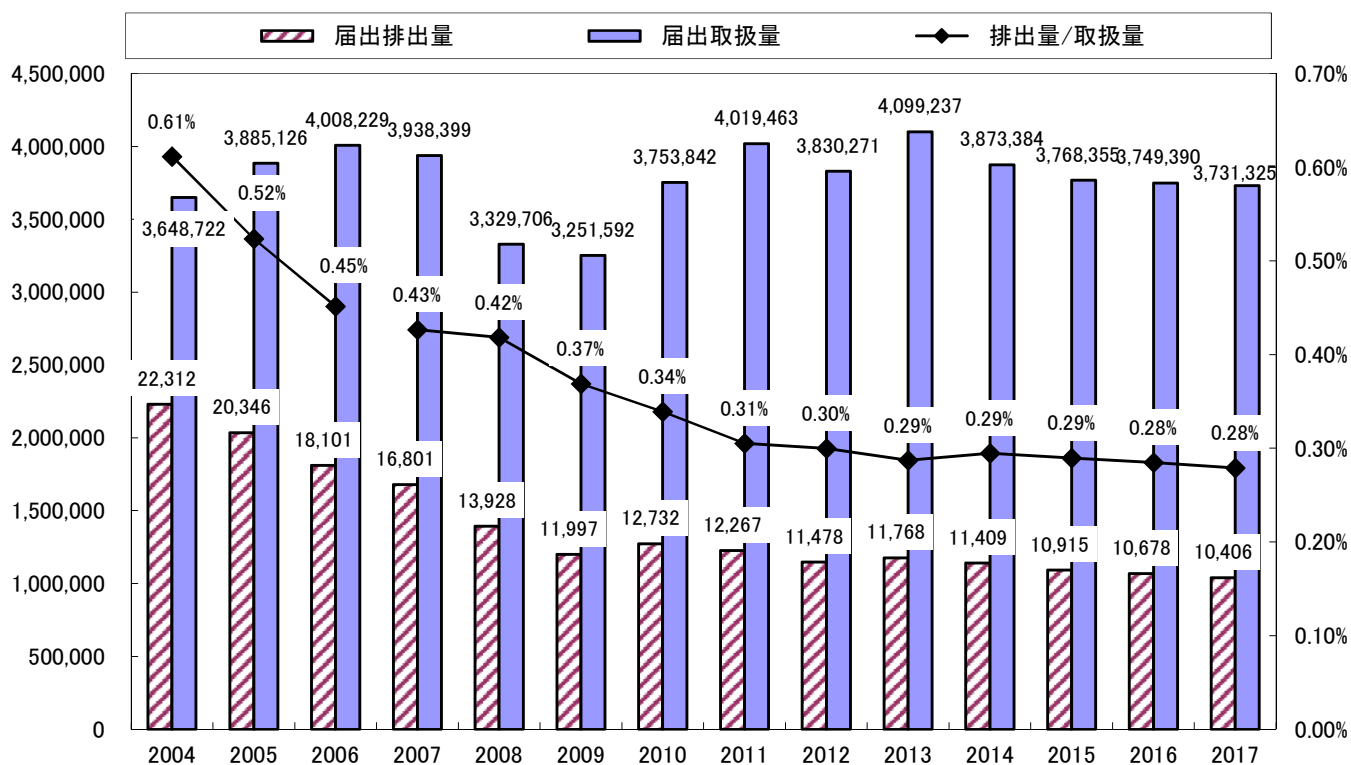
(3) 届出取扱量の上位5物質の推移

届出取扱量の上位5物質は①キシレン、②トルエン、③ベンゼン、④テレフタル酸、⑤ノルマルヘキサンでした。届出取扱量の集計を開始した2004年度と比較すると、①キシレンは59,946トン(7.1%)、②トルエンは118,621トン(15.7%)減少しました。



(4) 届出取扱量に対する届出排出量の割合

化学物質を製造・使用する際に環境中へ排出される割合（届出取扱量に対する届出排出量の割合）は、届出取扱量の集計を開始した 2004 年度の 0.61%から、2017 年度は 0.28%まで低下しており、事業者の排出抑制の取組が進んでいるものと考えられます。



(注) 2010 年度から届出対象物質が 354 種類から 462 物質に変更されている。

図 2 - 5 - 4 届出取扱量に対する届出排出量の割合の推移